

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	11,969	△5.0	201	△72.6	187	△77.4	12	△97.4
2023年12月期第3四半期	12,594	9.1	736	△20.3	827	△17.1	489	△24.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 31百万円(△93.9%) 2023年12月期第3四半期 512百万円(△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	0.79	0.79
2023年12月期第3四半期	30.69	30.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	11,410	5,901	47.1
2023年12月期	11,680	5,930	46.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 5,379百万円 2023年12月期 5,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期(予想)				3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△8.4	250	△75.5	200	△80.7	10	△98.0	0.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) 英治出版(株)、(株)メガ・コミュニケーションズ、 除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	16,108,800株	2023年12月期	16,108,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	266株	2023年12月期	187株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	16,108,592株	2023年12月期3Q	15,967,847株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに回復の兆しが見られ、個人消費や雇用情勢も緩やかな持ち直しの動きが続いております。内閣府は2024年10月の月例経済報告において、景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていること、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があると指摘しております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、当社が注力するインターネット広告市場の2023年の市場規模は前年比7.8%増の3兆3330億円となり、継続して高い成長力を保っております(出所：電通「2023 日本の広告費」)。また、一般社団法人日本eスポーツ連合によれば、国内eスポーツ市場規模は2022年に前年比27.0%増の125.4億円となり、2023年は162.2億円、2024年は194.5億円と高い成長率で拡大する見込みです。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、面白プロデュース、ゲームエンタメ、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSブライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,969,215千円(前年同期比5.0%減)、営業利益は201,992千円(前年同期比72.6%減)、経常利益は187,236千円(前年同期比77.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,683千円(前年同期比97.4%減)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、サービス別の売上区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 面白プロデュース

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。しかしながら当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍を経て顧客のマーケットの動向や需要の変化などにより、顧客数の減少がみられました。この結果、面白プロデュース関連の売上高は1,581,869千円(前年同期比1.6%減)となりました。

② ゲームエンタメ

「ぼくらの甲子園! ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めております。ハイパーカジュアルゲームにつきましては、直前四半期にリリースした2本の新作タイトルに加え、当第3四半期連結会計期間に新作タイトル「Jetpack Master」を正式にリリースしました。しかしながら、モバイルゲームのダウンロード数の成長速度が鈍化し、ダウンロード数は直前四半期比では11.9%増となったものの、前年同期比では10.9%減の約7,792万件となりました。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は6,703,359千円(前年同期比13.8%減)となりました。なお、「キン肉マン マッスルショット」については2024年7月をもってサービス終了しております。

③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しております。GLOE(株)のeスポーツ事業並びにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。当第3四半期連結会計期間におけるToname1の大会開催数は、コミュニティに寄り添った運営により国内大会数が増加した結果、直前四半期比21.9%増の12,904件となりました。この結果、eスポーツ関連の売上高は2,064,878千円(前年同期比16.3%増)となりました。

④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。当第3四半期連結会計期間末時点で、「SMOUT」の累計登録ユーザー数は直前四半期末比6.2%増の約6.1万人となり、順調に拡大しております。

「SMOUT」の導入地域数も当第3四半期連結会計期間末時点で直前四半期末比11.9%増の1,089地域となり、市場の上限

である自治体数約1,700地域対しての導入率が64.1%となりました。また、当第3四半期連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、直前四半期末比18.2%増の15.4万人と、こちらも順調に増加しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は686,123千円（前年同期比21.9%増）となりました。

⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、コロナ禍により業績が悪化した後、緩やかな回復基調にあります。また、2024年2月29日付で株式を取得し子会社化した英治出版㈱の売上も寄与しております。この結果、その他サービス関連の売上高は932,985千円（前年同期比7.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ269,898千円減少し、11,410,321千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少738,945千円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少176,513千円、営業投資有価証券の増加129,693千円及び投資有価証券の増加332,201千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ240,683千円減少し、5,509,146千円となりました。主な要因は、未払金の減少733,005千円及び長期借入金の増加424,608千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ29,214千円減少し、5,901,174千円となりました。主な要因は、GLOE㈱株式の売却による資本剰余金の増加19,270千円及び配当による利益剰余金の減少62,823千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月15日付の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、2024年11月14日付で公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,004,208	4,265,263
受取手形、売掛金及び契約資産	2,831,250	2,654,736
営業投資有価証券	19,999	149,692
仕掛品	64,726	126,461
その他	501,167	672,469
貸倒引当金	△11,704	△10,618
流動資産合計	8,409,647	7,858,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	874,322	819,496
工具、器具及び備品（純額）	98,992	84,883
土地	645,724	626,311
その他（純額）	9,784	68,565
有形固定資産合計	1,628,824	1,599,256
無形固定資産		
のれん	698,515	733,522
その他	204,761	178,594
無形固定資産合計	903,277	912,116
投資その他の資産		
投資有価証券	318,149	650,351
繰延税金資産	173,155	158,296
その他	301,395	279,289
貸倒引当金	△54,230	△46,994
投資その他の資産合計	738,470	1,040,943
固定資産合計	3,270,571	3,552,316
資産合計	11,680,219	11,410,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	571,768	468,649
短期借入金	300,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	506,963	717,530
未払金	1,297,385	564,379
未払費用	339,811	304,189
未払法人税等	301,014	62,656
契約負債	190,964	153,206
預り金	781,096	930,344
受注損失引当金	10,347	—
その他	109,786	139,287
流動負債合計	4,409,139	3,740,243
固定負債		
長期借入金	1,313,326	1,737,934
その他	27,364	30,968
固定負債合計	1,340,690	1,768,903
負債合計	5,749,830	5,509,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,127,226	1,146,237
利益剰余金	3,385,402	3,335,261
自己株式	△229	△281
株主資本合計	5,412,638	5,381,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,688	△2,309
その他の包括利益累計額合計	△8,688	△2,309
新株予約権	52,267	57,247
非支配株主持分	474,171	464,779
純資産合計	5,930,388	5,901,174
負債純資産合計	11,680,219	11,410,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	12,594,839	11,969,215
売上原価	5,974,946	5,550,239
売上総利益	6,619,892	6,418,976
販売費及び一般管理費	5,883,068	6,216,983
営業利益	736,824	201,992
営業外収益		
受取利息	422	934
受取配当金	625	1,627
助成金収入	13,208	9,830
保険解約返戻金	32	5,855
為替差益	99,462	35,962
その他	6,347	10,914
営業外収益合計	120,099	65,125
営業外費用		
支払利息	5,016	9,244
持分法による投資損失	16,687	58,263
固定資産除却損	0	8,857
投資事業組合運用損	—	197
その他	7,290	3,318
営業外費用合計	28,993	79,881
経常利益	827,929	187,236
特別利益		
固定資産売却益	—	21,921
特別利益合計	—	21,921
特別損失		
減損損失	—	47,374
特別損失合計	—	47,374
税金等調整前四半期純利益	827,929	161,783
法人税、住民税及び事業税	329,214	130,866
法人税等調整額	△17,461	8,448
法人税等合計	311,752	139,314
四半期純利益	516,176	22,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,194	9,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,981	12,683

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	516,176	22,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,165	8,769
その他の包括利益合計	△4,165	8,769
四半期包括利益	512,011	31,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,763	19,062
非支配株主に係る四半期包括利益	28,247	12,176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるGLOE(株)の株式の一部を売却いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が19,270千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,146,237千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	152,356千円	137,481千円
のれん償却額	109,525千円	118,320千円